

## 養老鉄道存続特別委員会

### ◎審査案件

- 一 一般社団法人養老線管理機構の人員費の負担割合について
- 二 養老線の事業形態の移行等について

**問** 収支計画の中で事業費が増減した場合、市町会提出の決定案の比率に基づき計算されるのか。

**答** 執行部より、増減に伴う負担割合は今後の協議となる。事業費は養老鉄道の積算根拠により算出しているもので、大きな増減はないが、仮に不用額があった場合、事務局レベルでは翌年度に繰越して、翌年度の負担額を抑える意見もある。

**問** 養老線の町内3駅に限らず、電車を乗降りするホームが、老朽化により危険もあるが修繕はどのようになるのか。

**答** 近鉄には、養老線存続に係る合意前に施設を修繕して引き渡して欲しいと、再三お願いしたが受け入れられなかった。今回の協定の中で近鉄側から、一時金として10億円が拠出されたので、養老線管理機構の中で計画的に修繕していく事になる。

**問** 交通網形成計画の目標を達成するために、企業送迎バスの導入、通勤定期利用者の増加などの施策・事業に取り組まれるが、利用促進に向けた話し合いの機会はあるのか。

**答** 交通網形成計画を策定するにあたり、地域の高校や商工会議所の関係者の意見を取り入れており、商工会議所等の代表が養老線管理機構の下部の組織に話題を提供し、お互いに意見を出し合い養老線を守っていく。

### その他

沿線市町として、養老線を地域の生活軸とする為には、パークアンドライド用の駐車場整備の必要性・JR線への乗り継ぎなどの利便性や改善策などの要望もあった。



## 池田町・神戸町議会議員研修会

平成29年1月24日(火)神戸町役場で両議会議員合同研修会を開催しました。今回は、岐阜県子ども・女性局長 鈴木裕子氏をお招きし「今求められる女性の活躍推進」を、テーマに講演を頂きました。

なぜ今女性の活躍が求められているのか。

全国的に見ても人口急減・超少子高齢化社会このままでは、労働力不足で日本の経済成長は鈍化・社会保障費の増加が心配されます。これを解決するには、人的資源の活用すなわち女性・高齢者・若者・外国人・障害者の活躍が必要とされています。

しかし現状では、出産・子育て・介護等で仕事との両立が困難のため、女性の参画が進んでいません。岐阜県では、応援プロジェクトの中でワーク・ライフ・バランス、仕事と家庭の調和・子育て支援エクセレント企業の認定制度を設けて、女性の活躍推進・両立支援の応援をしているとの講演を頂きました。



神戸町役場 南庁舎で開催